

令和元年度久美浜中学校卒業証書授与式 式 辞

梅の花が美しく咲き、木々の蕾の膨らみに春の訪れを感じる今日の佳き日、国内において新型コロナウイルスの感染が拡大する中、御来賓 京丹後市教育委員会 教育次長 横島勝則 様、PTA会長 川端 秀樹 様のご臨席と、多数の保護者の皆様のご列席を賜り、令和元年度、第七回京丹後市立久美浜中学校卒業証書授与式を挙行できますことは大きな喜びであり、高壇からではございますが、心からお礼を申し上げます。

さて、六十二名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございませう。中学校の全教育課程を修了し、めでたく卒業の日を迎えることができましたことは、一人ひとりが三年間、たゆまぬ努力を積み重ねてきた結果であることは言うまでもありませんが、皆さんを応援し支えてくださった保護者の皆様を始め、温かく見守り接してくださった地域の方々、御指導いただいた先生方がいらっしゃったからでもあります。

皆さんは、先輩が築きあげてきた伝統である「命、今、仲間を大切にし、当たり前前が当たり前前ができる学校づくりを進める」という目標のもと、生徒会スローガン「覇気 ～ 久美中を創るのはキミだ～」を掲げ、学習、合唱祭や体育祭などの学校行事、生徒会活動、部活動等に全力で取り組みました。その取組の一つ一つに皆さんの一生懸命さと成長があり、そして、最上級生としてのリーダーシップを発揮して久美浜中学校を発展させました。

この3年間で、仲間との友情を育み、絆を深めました。温かく、思いやりのある学年であり、一生の中で、かけがえのない仲間を得ることができたものと思います。

私は、2年間、この久美浜中学校で皆さんと一緒に生活をさせていただき、多くの感動と心温まる思い出をいただきました。

2年生の時に出演した京丹後市小・中学校音楽フェスティバル。学年合唱で「時の旅人」「いつまでも」を発表しました。参加していた小学生をはじめ、客席いっぱいの来場者が、会場いっぱいに響き渡る素敵な歌声に感動しました。

昨年度にまして多くの生徒が練習に参加し、その練習をリードし、競技

力を高め心と体を鍛えた丹後ブロック中学校陸上競技選手権大会、丹後ブロック中学校駅伝競走大会。両大会ともに、天候には恵まれず、コンディションが悪い中でも、最後まであきらめず粘り強く競技に向き合う姿がありました。特に、丹後ブロック中学校駅伝競走大会では、まさに豪雨の中での激走であり、応援してくださっている方々の心を打ちました。男子においては、大接戦を制して京都府中学校駅伝競走大会の出場権を獲得しました。

教科の学習では、活発に英語でペアワークに取り組んだ英語の授業。「テーマについて、英語を使って、ディベート形式で意見を述べ合う」という授業では、今身に付けている英語力を発揮し、積極的にスピーチする姿に逞しさを感じました。また、実験に夢中に取り組んだ理科の授業。実験結果を整理し、電子黒板を使ってその考察を発表するなど、深く考える力を高めました。

皆さんは、多くの取組を通して、後輩に久美浜中生としての在るべき姿を示し続けた頼もしい先輩であり、目標とされる存在でした。皆さんのそういった姿が、皆さんがこの久美浜中学校に残した伝統です。

義務教育を修了し、将来への第一歩を踏み出します。

将来、職業に就き、自分の力で生計を立てていくこととなる皆さんに、中学校卒業という節目にあたり、将来を見据え、物事にどのように向き合うか、そのことについて、私の皆さんへの願いをお伝えします。

一つ目は、「日々、可能性を広げるために、学び続けてほしい。」ということです。

学びは、可能性を広げます。その自分の可能性に賭ける勇気と決断がこれからの人生を切り拓いていきます。加速度的に技術革新が進む産業界、大きく変わろうとしている社会、その変化に目を向けながら、自分の夢をはぐくみ、実現してください。

また、人生は学びの連続です。新たな出会いを大切にし、社会に出ても学び続け、社会の変化に対応しつつ、同僚と対話をしながら新たな価値を生み出してください。

二つ目は、「高い志をもち、何事にも挑戦してほしい」ということです。挑戦して目標が達成できなくても、それは失敗ではありません。失敗とは、物事に挑戦しないこと、そのものだと思います。挑戦した経験が自分を強くしてくれます。挑戦した経験が、人生の中で自分を助けてくれることも

あります。一步を踏み出す勇気をもつ、そして、自分で限界をつくらないでください。

三つ目は、「尊い心を育み、誰もが幸せに生きることができる社会づくりに貢献してほしい」ということです。これからの人生、どのように生きるかということも大切ですが、私はそれ以上に誰のために生きていくのかということの方がより大切ではないかと思っています。それは誰もが幸せになるためにです。皆さんは、かけがえのない大切な存在です。ですから、幸せな人生を送ってほしい、周りの人も幸せにしてほしいと強く願っています。将来、職業等を通して、一人一人が自分にできることをしっかりと社会に返し、誰もが幸せに暮らせる社会の担い手となってください。

皆さんがこの久美浜中学校で身に付けた「命、今、仲間を大切にする」生き方をこれからも大切にし、大きく成長してくれることを期待しています。

あとになりましたが、保護者の皆様にお祝いとお礼を申し上げます。本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。

お子様の健やかな成長を願って見守り支えてこられました皆様にはさぞやご苦労も多かったことお察しします。今日の佳き日を迎え、立派に成長されたお子様の姿に感慨もひとしおのことと存じます。教職員一同、心よりお慶びを申し上げます。私ども、保護者の皆様のご期待にお応えさせていただこうと、精一杯の努力をしてみりましたが、ご期待に添えなかった点多々ありましたこと、深くお詫び申し上げますとともに、この三年間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

また本日、ご多用の中、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様には重ねてお礼を申し上げ、今後とも本校の教育に益々のお力添えを賜りますようお願いを申し上げます。

結びにあたり、卒業生六十二名の「未来」に、幸、多からんことを心からお祈りし、式辞といたします。

令和二年三月十三日

京丹後市立久美浜中学校

校長 川戸 智司行